



定員
各回120名
先着

参加費
無料

対象
高校生
以上

大学教授の講義を体験してみませんか？

令和8年度



土岐市民大学講座

会場：セラトピア土岐 大会議室（3階）

時間：19:00-20:40（開場 18:30）

第1回 11月5日（木）

岐阜大学応用生物科学部教授 志水 泰武 先生

「健康と病気の四方山（よもやま）話」

第2回 11月12日（木）

名古屋大学総長 杉山 直 先生

「宇宙から来る危機」

第3回 11月18日（水）

一橋大学大学院名誉教授・人間文化研究機構理事

若尾 政希 先生

「『太平記』はいかに読まれてきたのか」

※講義内容の詳細については裏面をご覧ください。

お申込み

【電話でのお申込み】

☎54-1111（内線363） ◎平日の9時から16時30分

【Logoフォームでのお申込み】

こちらのQRコードからお申し込みできます ▶

①氏名②連絡先③受講希望講座を回答してください。



※申し込みが定員に達した時点で、募集を締め切らせていただきます。

講義内容紹介

令和8年度
市民大学講座



第1回 11月5日(木)



「健康と病気の四方山（よもやま）話」

岐阜大学応用生物科学部教授 志水 泰武 先生

私たちの体の中では、たくさんの臓器が「ひとつのチーム」として働いています。そのチームワークが乱れると病気になってしまいます。少し難しそうな体の仕組みを、日常生活と関連させながら解説します。

「へ～、体って本当によくできているな！」と感じていただければ幸いです。

第2回 11月12日(木)



「宇宙から来る危機」

名古屋大学総長 杉山 直 先生

宇宙から地球にもたらされる2つの危機について解説します。

一つ目は、太陽の爆発現象です。黒点の数が増える時期に起きる太陽フレアについて、発生のメカニズムと人類社会に及ぼす影響について説明します。また屋久杉の年輪や過去の文献に残されたフレアの痕跡から、その頻度や強度などを知る研究について紹介します。二つ目は、小惑星など小天体の地球への衝突です。6600万年前に直径10kmほどの小惑星が衝突したことで恐竜は絶滅しました。このような衝突の頻度と、それを回避する試みについて解説します。

第3回 11月18日(水)



「『太平記』はいかに読まれてきたのか」

一橋大学大学院名誉教授・人間文化研究機構理事
若尾 政希 先生

『太平記』を知っていますか。読んだことはありますか。

現代ではあまり読まれていない『太平記』ですが、江戸時代では多くの読者を獲得し、政治や社会に大きな影響を与えました。私の処女作である『「太平記読み」の時代』（平凡社、1999年）の成果を踏まえ、『太平記』とは何だったのか、考えてみたい。

お問合せ

土岐市役所 生涯学習課 TEL54-1111（内線363）

